

2回生 必修教科「技術」授業のシラバス

教科名	技術・家庭	科目名	技術分野	単位数	35	時間
科目の目標	(1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解を深める。 (2) 生活や社会の中から技術に係る問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、施策等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (3) より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。					
教科書	技術・家庭 技術分野（開隆堂）		副教材	ハンドノートA材料と加工に関する技術 ハンドノートBエネルギー変換に関する技術 ハンドノートC生物育成に関する技術 水耕栽培、ダイナモランタン、ツインボード（木材）		

1 学習の目標

材料と加工、生物育成、エネルギー変換技術の見それぞれの見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、生活や社会・環境との関わりについて理解を深めるとともに生活や社会の中からこれらの技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決する力、より良い生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実にこれらの技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

2 学習の方法

- (1) 予習について
 - 特にありません。
- (2) 授業について
 - 教科書、ハンドノートを使います。そのほかに、技術教室にある様々な器具も使います。
- (3) 復習について
 - 特にありません。

〈学習アドバイス〉

- 定期考査、レポート提出などを行います。
- 定期考査は、授業や実習などについて、教科書やハンドノートから主に出題します。この他、実習や製作で使ったレポートなども評価の対象となります。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	ものづくりやエネルギー利用及び生物育成等に関する技術について基礎的な理解を図るとともに、関わる技能を身に付け、技術と生活・環境との関わりについて理解を深める。
②思考・判断・表現	生活と技術に関わる課題を見だし、解決策を構想し、実勢による具体化、評価改善を通して、課題を解決する力を養う。
③主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、工夫・創造しようとする態度を養う。

(2) 評価の方法（以下観点①～③は「(1) 評価の観点」と対応する）

観点	評価材料	定期考査	単元テスト	小テスト	実技実習	発言発表	作品	レポート	ノート	ワークシート	討議				
①知識・技能		◎			○				○	○					
②思考・判断・表現		○			◎	○	◎		○						
③主体的に学習に取り組む態度					◎	○	◎			○	○				

〈担当者からのメッセージ〉

- 日常の生活を発展させた技術の役割やはたらきについて考えましょう。
- 材料に適した加工法を知り、進んで活用できるようにしましょう。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析し、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることがなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さや健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画 ※【知識・技能】→①、【思考・判断・表現】→②、【主体的に学習に取り組む態度】→③

月	単元	学習内容	評価の観点	考查等	資質・能力
4	オリエンテーション 1 栽培の見通し(3)	育てる場所をくふうしよう。 地域の環境に目を向けた栽培をしよう。 栽培する作物を決めよう。 【食糧】【言語】	③生物育成に関心を持っている。 ②③土づくりや栽培についての知識を活用し、日常の手入れをしている。 ①②病害虫に対して的確に対応している。		ABCD
5	2 栽培の基礎(3)	作物がよく育つ環境を調べよう。 栽培に適した土づくりをしよう。 よい苗を育てて植えつけよう。 日常の手入れをしよう。 【食糧】	①栽培についての基礎的な知識を理解している。		
6	3 エネルギーとその利用(3)	身の回りで利用されているエネルギーを調べよう。 電気エネルギーについて調べよう。【言語】 電気エネルギーを利用しよう。 電気エネルギーを利用するものをつくろう	③エネルギーの変換方法に関心を持っている ②③機器の基本的な仕組みを知り、日常生活の保守点検に生かすことができる。 ①道具を正確に扱えるとともに、はんだづけをきちんとできる。 ①回路図を理解するとともに、エネルギー変換についての基礎的な知識を理解している。		
7	4 エネルギー変換を利用したものづくり(7)				
8					
9	まとめ			考查 生物育成に関する技術 エネルギー変換に関する技術	ABCD
10	5 生活とものづくりの技術(2)	生活を支える技術について考えよう。 くふうすることのすばらしさを知ろう。	②③材料の特徴と加工について関心をもち、立体図や作品加工を行おうとしている。		ABCD
11	6 材料の特徴と加工方法(4)	材料の特徴を調べよう。 材料の特徴をまとめよう。	②安全と衛生や作業の能率に留意して、加工できている。 ①加工道具や工作機械を的確に扱っている。		
12	7 設計(5)	機能を考えよう。 構造を丈夫にするくふうをしよう。 構想したものを図で表そう。	①材料の特徴と加工方法及び道具の取扱いについて理解している。 ②③図面を正確に描くとともに、作品をていねいに仕上げている。		
1	8 部品の加工(3)	製作の準備をしよう けがきをしよう 材料を切断しよう 材料をけずろう 材料に穴をあけよう			
2	9 組み立てと仕上げ(8)	組み立てよう			
	まとめ			考查 材料と加工に関する技術	ABCDL
3	10 工場見学に向けて(日本のモノづくり)(3)		③製鉄と製鋼について理解し、日本のモノづくりの現状と課題について関心を持つようとしている。		